

# 小麦の収量・品質向上に向けた基本技術の実践

基本技術の積み重ねに優る技術なし！

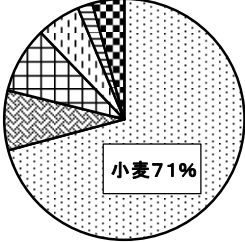
活動年次：令和3～4年

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

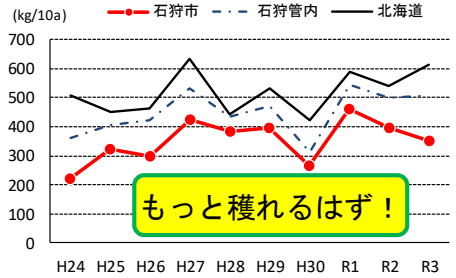
## 1 課題設定の背景

対象：JAいしかり 小麦作付け農業者66戸(746ha)

- 麦類
- ばれいしょ
- てんさい
- そば
- 豆類
- その他



経営に占める割合が大きいためから良い麦を穫りたいなあ



もっと穫れるはず！

秋まき小麦収量の推移

要透排水性改善！



雑草(スズメ/カタヒラ)が多い！



穂数過多、千粒重軽い！(秋まき小麦)

		R3	R2	R1
穂数 (本/m <sup>2</sup> )	石狩市	827	800	876
	目標	550~700		
千粒重 (g)	石狩市	33.3	38.5	38.8
	石狩管内 平年値	39.8	40.2	40.4

穫れない原因は？

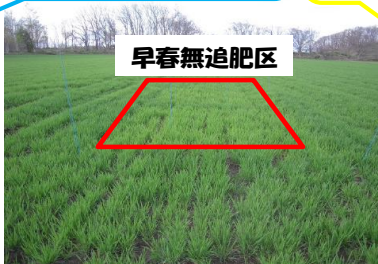
## 2 活動の経過

対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重点地域		●追肥時期試験ほ設置 ●栽培研修会			●土壌断面調査 ●収穫調査						●重点地区研修会	
法人支援				●法人・関係機関打合	●土壌調査		●秋小は種床調査	●排水対策研修会				
技術情報 (市全体)	※	※※	※	※※	※	※※	※					※

### 【重点地域への支援】

起生期茎数過多の場合は、適正穂数にするために、少し追肥を遅らせましょう！

早春追肥を遅らせると葉が黄色くなるけど大丈夫かなあ・・・



試験ほ設置

(4/17 起生期追肥→5/3幼穂形成期追肥)

12/8 米麦研修会

### 【法人経営の麦づくりを支援】



7/4 農業者、初刈、JA、普及セクと課題の洗い出し



8/17 試験場の協力を得て土壌断面調査

地下水位が高く、麦の根が浅い



32cm掘ると水が出る!

砕土率向上がカギ!

砕土不十分

は種深度不均

発芽率の低下

は種量の増加

穂数過剰

千粒重低下



砕土・整地作業は時間をかけて丁寧に!



砕土の目安は2cm以上の土塊70%程度!

### 【小麦作付け農業者全体への支援】

新品種「北見95号」の特性を知って、茎数に応じた施肥をしてみませんか?



4/14 米麦研修会



「北見95号」

「きたはなみ」



雑草対策として適期防除の発信

### 3 活動の成果 \*\*\*\*\*

**起生期追肥を遅らせ適正穂数を目指す農業者が増加!**

起生期茎数  
1,150本/㎡

早春追肥

穂数860本/㎡



早春追肥（起生期追肥）を遅らせることで、余分な茎数を整理することできた

幼穂形成期追肥

穂数627本/㎡



区名	歩留率(%)	千粒重(g)	タバク値*
早春追肥	90.6	35.0	9.5
幼穂形成期追肥	88.3	33.7	8.0

\*タバク値 許容値：8.5以上12.5以下

**透排水性改善対策としてカットブレイカー施工を実施!**



小麦収穫後施工



は種後溝切り

- メーカーからカットブレイカーを借り、は種前に排水対策を実施。
- は種前に排水対策を実施できなかった排水不良ほ場ではほ場内に溝切りを実施。

### 4 今後の活動 \*\*\*\*\*

- R5年度以降は主に法人の活動支援する。
- 効果的な排水対策の提案と安定的な発芽率を確保するためには種床づくりの支援（3, 8, 9月）。
- 新品種「北見95号」の施肥試験（4～8月）実施による施肥法の提案。
- 現地研修会（4月）、講習会（12月）の実施。